

## 学校施設の目指すべき姿（案）

### 1 安全性の確保

学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす場であり、事故や事件等が発生することのない、安全・安心で衛生的な環境を整えることが不可欠です。

また、学校施設は、災害時における地域の避難所として、重要な役割を担っており、地域の防災力という観点も必要です。

そこで、施設・設備の老朽化対策や、避難所施設としての安全性及び機能の確保・強化に取り組み、安全・安心で衛生的な学校施設を目指します。

### 2 学習・生活環境の向上

学校施設は、学校教育活動を行うための基本的な教育条件であるため、充実した教育活動を十分に展開できるよう、多様な指導方法、学習集団・学習形態等を展開することのできる機能的な環境を整えることが必要です。同時に、平成29年3月に公示された学習指導要領において、知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められていることなどもふまえ、これからの時代の変化に対応可能な学習環境を整備していくことも重要です。

また、児童・生徒の生活の場である学校施設には、特に特別な支援を必要とする児童・生徒も含めて、ひとりひとりにとって安心かつ快適な環境であることが求められており、機能性や利便性を高めるとともに、生活様式の変化や社会の多様化等にも留意していく必要があります。

そこで、これらをふまえた学校施設の整備に取り組み、児童・生徒の学習・生活環境の向上を目指します。

### 3 地域とともにある学校施設づくり

児童・生徒の豊かな学びや成長のためには、学校だけでなく地域の参画を得たうえで、学校と地域が一体となって教育を推進していく必要があります。また、教育課程以外においても、学校施設が児童・生徒の健やかな成長に果たす役割は大きく、これらをふまえて施設整備に取り組んでいくことが重要です。

同時に、学校施設には地域住民等の生涯学習活動や地域活動の場としての役割も期待されており、学校施設を様々な用途でも活用できるよう、各地域の実情等をふまえながら、周辺施設との複合化の可能性などについても検討を進めていく必要があります。

そこで、学校に期待される多様な役割をふまえた施設整備や複合化の検討等を行い、地域とともにある学校施設を目指します。